

進路だより



富岡特別支援学校
 移行支援部 No.9
 令和7年3月4日

令和6年度高等部3年生 進路決定までの歩み

3月3日に高等部の卒業式が行われ、3年生が卒業しました。全員が進路先を決め、卒業後はそれぞれ新たな道へと進んでいきます。今回は、今年度の高等部3年生の進路先が決まるまでの歩みをご紹介します。どのような現場実習先へ行き、どのような経緯で進路が決まったのかを表にまとめました。高等部の方々だけでなく、小学部や中学部の児童生徒や保護者の皆様にも参考にさせていただけたらと思います。

生徒【進路先】		Aさん【一般企業】	Bさん【特例子会社】	Cさん【B型事業所】
実習先	2年生	1学期 特例子会社 ・清掃、仕分け、箱の組立て	特例子会社 ・清掃、仕分け、箱の組立て	就労継続支援B型事業所 ・シャープペンシルやビニールハウス部品の組立て
		2学期 就労継続支援A型事業所 ・ボールペンの検品、健康食品の袋詰め	就労継続支援A型事業所 ・缶バッジの袋詰め、農作業（種まき）	就労継続支援B型事業所 ・ホチキスの針の箱詰め、タオル畳み、ワッシャーはめ
		3学期 一般企業 ・保育教諭の手伝い、清掃	就労継続支援A型事業所 ・ボールペンの検品、健康食品の袋詰め	就労継続支援B型事業所 ・清掃、段ボールの組立て
	3年生	1学期 一般企業 ・保育教諭の手伝い、清掃	就労継続支援A型事業所 ・ボールペンの検品	就労継続支援B型事業所 ・農業（野菜のハウス栽培）、部品の組立て
		2学期 一般企業 ×2回 ・保育教諭の手伝い、清掃	特例子会社×2回 ・農業、養蚕、和紙づくり	就労移行支援事業所★アセスメント ・バリ取り、シール貼り、除草作業 就労継続支援B型事業所 ・農業（レタスの水耕栽培）
		3学期 一般企業 ・保育教諭の手伝い、清掃		
進路決定までの経緯		子どもとかかわる仕事がしたいという本人の希望から、実習先を決めました。目標を達成できるよう、また、職場の環境に慣れることができるよう、同じ実習先で5回の実習を行いました。 	校外外で様々な作業を経験することで、手先を使った軽作業があるA型事業所が向いていると思うようになりました。しかし、事業所の様々な事情で受け入れが困難となり、急遽、特例子会社での実習に挑戦しました。そこで強く「ここで働きたい」という気持ちが芽生え、2回の実習を経て就労を決めることができました。 	B型に焦点を絞り、ほぼ毎回異なる事業所で実習を行いました。3年生になると「農業をやりたい」と思うようになり、農作業のある事業所へ行きました。野菜を栽培する作業を含む、B型の事業所への就労を決めています。 ★B型事業所で働くためには、就労アセスメント（就労能力や意欲を評価するための実習）が必須です。

○令和6年度 高等部卒業生（8人）の進路先

今年度高等部を卒業した生徒の進路先を紹介します。

- ・フィロスあけぼの【生活介護】
- ・ワンセルフくろかわ【生活介護】
- ・リンクカラフル（旧 HOPE GARDEN 富岡）【自立訓練（生活訓練）】 2人
- ・クラリスファーム【就労継続支援B型】
- ・Self-A・ひまわり富岡【就労継続支援B型】
- ・パーソルダイバース株式会社とみおか繭工房 妙義【特例子会社】
- ・一峰こども園

